

OUNISECの存在理由

★★日本の大学・高専の宇宙工学研究水準は世界でも屈指★★

(衛星の写真を添付／リンク)

しかし、大学・高専の研究に対する国の支援はとても十分とは言えません。宇宙新興国の追い上げに、日本の優位性も年々失われつつあります。そのような厳しい環境の中で、学生たちは、時には実験などの旅費稼ぎにアルバイトをしながら頑張っています。

★★宇宙開発は未開拓技術の宝庫★★

宇宙は産業としても大きな広がり期待できる分野であると共に、未開拓技術の宝庫であり、他分野へも応用できる先端技術を創生します。

★★宇宙の極限状態の厳しさが教育の場として最適★★

宇宙工学研究は、作ったものが手の届かない宇宙に行ってしまうため、究極の品質が求められます(はやぶさ1が数々の故障を引き起こしながら地球に帰還するのを手に汗握りながら見守っていた私たちは、品質の大切さをイヤというほど実感しました)。日本の熱意のある若者を育て、ものつくりのDNAを継承する絶好の場です。実際、OUNISECで活躍した学生はパワフルです！

★★個々の学校では手の届かない分野をOUNISECがサポート★★

宇宙工学研究・教育は個々の学校や研究室などの団体を中心に行われています。学校・団体間の競争と協力があれば、さらに強かに推進することができます。最近では特に海外の学生・若手研究者との交流が刺激になっています。この領域への国の支援は、残念なことにほとんどありません。複数の大学・高専が共同で参加(学生だけの参加は認めず、責任教員とセットで参加が必須)しているOUNISECがそのほんの一部を担っています。また、各学校の得意なところを組合せた研究を行うことも可能であり、実際にも行っています。これらの活動を評価され、OUNISECは2018年に東京都より認定NPOとして認められました。

★★国際的に注目されるOUNISECのスキーム★★

このユニークな教育のスキームは 世界各国から注目されています。各国から「自分の国でも同じ仕組みをつくりたい」と相談が殺到しています。OUNISECではこれらの国々を支援し、現在ではOUNISEC_〇〇という組織が××国・地域で創設され、××の国・地域がその準備に入っています(POCを設立)。2017年には 国連宇宙空間平和利用委員会にて常任オブザーバとして承認されました(非政府組織としては日本で唯一)。

これらの国際活動も国から評価され、2020年に内閣府の宇宙利用大賞「外務大臣賞」を受賞しました。

★★OUNISECの財務基盤とご寄付の使い道★★

事務局の現在の常勤要員は4名(国内業務2名、国際業務2名、全員臨時の雇用契約)です。独立系のNPOなので会員の年会費がベースとなります。約260名の個人会員と11の法人会員がOUNISECを支えています。しかし、前述のようなOUNISECの活動を展開していくには会費だけではとても不十分な状況のため、競争的資金の受託研究や助成金への応募、会員外の皆さまからのご寄付集めを積極的に行っています！

(財務の詳細は下記、決算書をご覧ください)

<http://unisec.jp/unisec/public.html>

ご寄付はUNISECの未来をつくる事業に充てさせていただきます。
明るい未来づくりのため、皆さまのお力をぜひお貸ください！！